

平成 24 年度関東地区連合会平成 23 年度総会

平成 24 年 4 月 21 日(土)グランドヒル市ヶ谷(東京)にて、標記の総会が行われた。当日東京都同窓会の 80 周年記念式典が行われこともあって、多くの地区連合会会員の皆様の参集にいつもより活気を感じた会合である。

地区連合会議長江藤世助(大 6)議長より、今年度会員物故者に黙祷捧げ会は進行された。

報告事項として:会務、本部同窓会、評議員、監事報告と続き、本部同窓会報告では、松延本部同窓会会長より、入会金、見舞金等の見直し、未入会員対策、学術セミナーの充実、今後の活動指針と展望について説明があり、さらにこの春学長に任命された西原達次学長(大 29)をサポートし、来る大学 100 周年記念事業への惜しみない協力を宣言した。続いて豊永壽博専務理事(大 22)より詳細な本部同窓会報告があった。

議事に入り議案は

- 第一号議案 平成 23 年度決算
- 第二号議案 年会費の額と徴収方法
- 第三号議案 平成 24 年度事業計画案
- 第四号議案 平成 24 年度予算案

以上四議案すべて可決確定した。

その後、大学 12 期の大川倬司先生に本部から功労者として表彰があり、続いて地区連合会(1 都 5 県)の会員で今年古希を迎えられる 9 名の先生方へお祝い品が贈呈され、播磨地区連合会会長より「古希なれば あちこちの 骨が 鳴るなり コキコキと」とお祝いの言葉で総会は閉会した。

記 家田隆弘 本部モニター担当理事 (大 32)